



# 2019年12月期 決算説明会資料

## 荏原 (6361)

2020年2月12日

Looking ahead,  
going beyond expectations  
*Ahead > Beyond*

株式会社 荏原製作所

## 目次

1. 決算サマリ		4. 営業利益の増減要因	P12,13
① 全社	P3	5. 株主還元	P14
② セグメント別	P4	6. 補足資料 数値サマリ	
③ 地域別売上高	P5	① 受注高	P15
④ 経営指標	P6	② 売上高	P16
2. セグメント別業績		③ 営業利益	P17
① 風水力	P7	④ 受注残高	P18
② 環境プラント	P8	⑤ 地域別売上高	P19
③ 精密・電子	P9	⑥ 貸借対照表	P20
3. 業績見通し		⑦ キャッシュ・フロー	P21
① 全社	P10	⑧ 資本的支出、減価償却費、 研究開発費	P22
② セグメント別	P11		

✓ 略語の説明

- FY: 会計年度 (例 「FY19」は19年12月期会計年度)
- 「1Q」は第1四半期の数値、「1-2Q」、「1-3Q」、「1-4Q」はそれぞれ第1四半期から各四半期末までの累計値であることを示している

- ✓ 本資料で示す「地域別売上高」は売上先所在地別売上高を示している

# 1. 決算サマリ 全社



## FY19 1-4Q業績

(単位：億円)	FY18 1-4Q 実績	FY19 1-4Q 実績	増減
受注高	5,755	5,522	- 233
売上高	5,091	5,224	+ 132
営業利益	324	352	+ 28
売上高営業利益率	6.4%	6.8%	+ 0.4pts
経常利益	312	355	+ 42
親会社株主に帰属する 当期純利益	182	233	+ 50

為替レート(対USD)      JPY111.3      JPY108.5

## 決算のポイント

### ■ 市場環境

- ✓ 石油・ガス (O&G) 市場のダウンストリームは設備投資が一定水準を維持
- ✓ 半導体市場におけるメモリーメーカーの設備投資は依然として低水準だが、一部の顧客で投資拡大の動きがみられる
- ✓ 米中貿易摩擦や地政学リスクへの懸念が残る

### ■ 業績

- ✓ 風水力事業は増収増益
- ✓ 環境プラント事業は増収増益
- ✓ 精密・電子事業は減収減益

## 1. 決算サマリ 全社 :

### <事業環境>

- 風水力事業では対面市場の一つである石油ガス市場のダウンストリームでは設備投資が回復しており、一定の投資水準で推移した
- 半導体市場における設備投資は引き続き低調だが、一部の顧客では設備投資再開の動きがみられた

### <業績結果>

- 受注高 : 5,522億円(対前期比-233億円)
- 売上高 : 5,224億円(同+132億円増)
- 営業利益 : 352億円(同+28億円)
- 親会社株主に帰属する当期純利益 : 233億円(同+50億円)

## 1. 決算サマリ セグメント別



(単位：億円)		FY18 1-4Q 実績	FY19 1-4Q 実績	増減
全社	受注高	5,755	5,522	- 233
	売上高	5,091	5,224	+ 132
	営業利益	324	352	+ 28
	売上高営業利益率	6.4%	6.8%	+ 0.4pts
風水力	受注高	3,262	3,316	+ 53
	売上高	3,089	3,231	+ 141
	営業利益	87	172	+ 85
	売上高営業利益率	2.8%	5.3%	+ 2.5pts
環境プラント	受注高	1,069	914	- 155
	売上高	628	695	+ 66
	営業利益	49	74	+ 25
	売上高営業利益率	7.8%	10.8%	+ 3.0pts
精密・電子	受注高	1,406	1,276	- 130
	売上高	1,357	1,282	- 74
	営業利益	185	103	- 81
	売上高営業利益率	13.7%	8.1%	- 5.6pts
その他、調整	受注高	16	15	- 1
	売上高	16	15	- 1
	営業利益	2	1	- 0
	売上高営業利益率	15.8%	10.9%	- 4.9pts

4 | Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

Looking ahead, going beyond expectations  
Ahead > Beyond

### 1. 決算サマリ セグメント別：

#### <受注高>

- 環境プラント事業の減少は、前期の受注が例年に比べ高水準なため
- 精密・電子事業の減少は、半導体設備投資の減速による影響

#### <売上高・営業利益>

- 風水力事業と環境プラント事業がそれぞれ増収増益となり、精密・電子事業の落ち込みをカバー

## 1. 決算サマリ 地域別売上高



(単位：億円)	FY18 1-4Q		FY19 1-4Q		増減
	実績	構成比	実績	構成比	
<b>全社</b>	5,091	100.0%	<b>5,224</b>	<b>100.0%</b>	+132
日本	2,289	45.0%	<b>2,333</b>	<b>44.7%</b>	+43
海外	2,802	55.0%	<b>2,890</b>	<b>55.3%</b>	+88
中国	745	14.6%	<b>806</b>	<b>15.4%</b>	+60
アジア（中国除く）	928	18.2%	<b>878</b>	<b>16.8%</b>	-49
北米	473	9.3%	<b>553</b>	<b>10.6%</b>	+80
欧州	320	6.3%	<b>283</b>	<b>5.4%</b>	-37
中東	196	3.9%	<b>243</b>	<b>4.7%</b>	+46
その他	137	2.7%	<b>125</b>	<b>2.4%</b>	-12

北米、中国は風水力事業、日本は環境プラント事業が堅調

### 1. 決算サマリ 地域別売上高：

国内外の売上高構成比率は前期とほぼ変化なし

- 日本：主に環境プラント事業で売上増加
- 北米・中国：風水力事業で増加
- アジア（中国除く）：期初からの半導体設備投資の需要減で減少

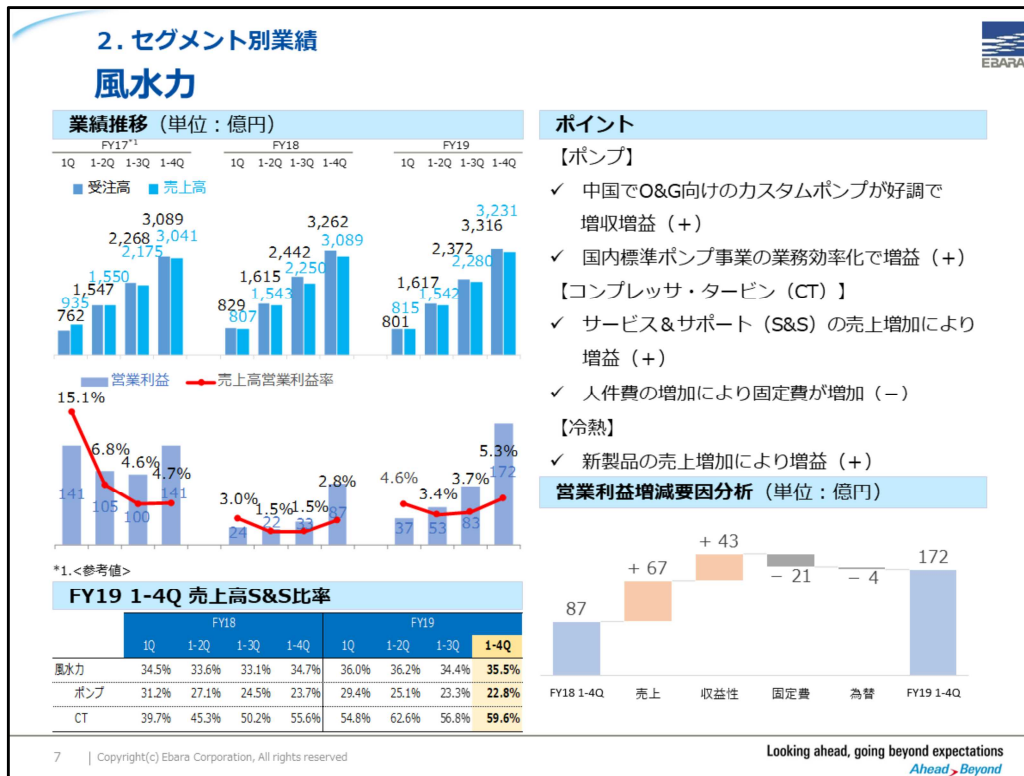
## 1. 決算サマリ 経営指標



	FY18 1-4Q	FY19 1-4Q
<b>経営指標</b>		
ROIC	4.9%	6.5%
ROE	6.6%	8.3%
D/Eレシオ	0.28	0.29
<b>運転資本回転日数</b>		
売上債権回転日数	129日	131日
棚卸資産回転日数	83日	85日
<b>株主還元</b>		
1株あたり年間配当金	60円	60円
年間配当総額	60億円	57億円
自己株式取得総額	50億円	150億円
総還元性向	60.5%	88.8%

### 1. 決算サマリ 経営指標：

最重要経営指標であるROICは前期を上回るが、E-Plan2019の最終年度である2019年に設定した8%以上の目標達成には届かず



## 2. セグメント別 風水力:

受注高: 3,316億円 (前期比+53億円)

売上高: 3,231億円 (同+141億円)

営業利益: 172億円 (同+85億円)

### ■ ポンプ事業: 増収増益

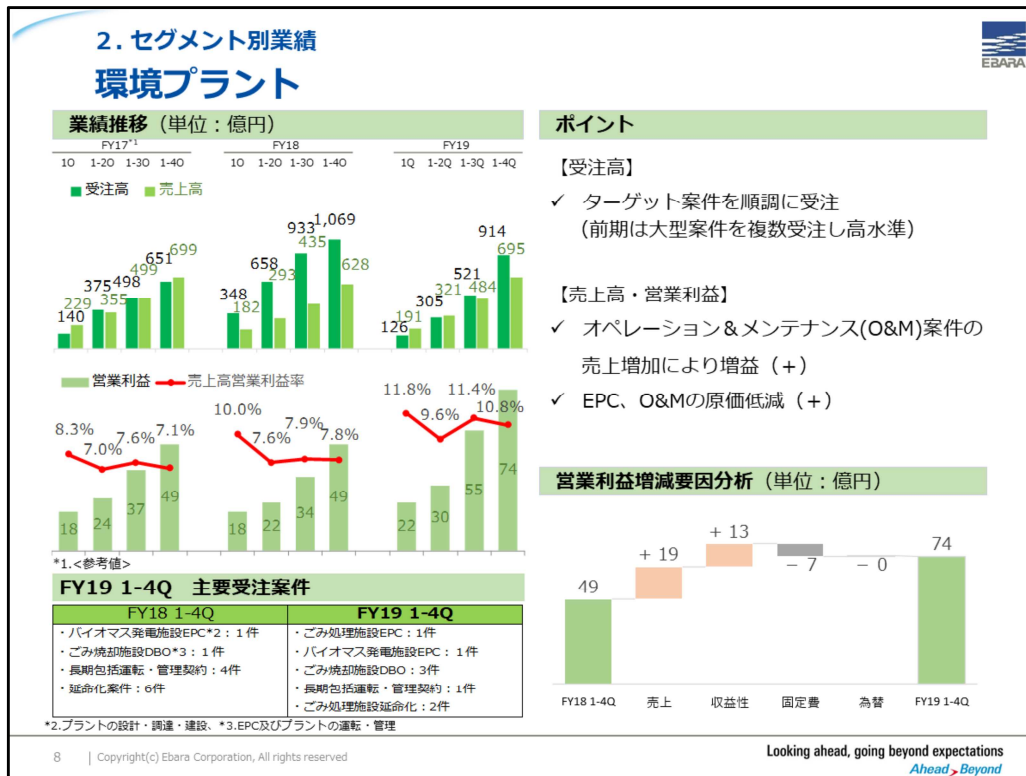
- カスタムポンプ事業において中国で石油ガス市場向けの需要が旺盛
- 国内標準ポンプ事業において業務効率化や価格改定効果などにより増益

### ■ コンプレッサ・タービン事業: 増収増益

- サービス&サポート事業やクライオポンプ事業が好調で増収増益

### ■ 冷熱事業: 増収増益

- 中国市場での新製品投入や国内更新需要の着実な取り込みにより増収増益



## 2. セグメント別 環境プラント:

受注高: 914億円 (前期比-155億円)

売上高: 695億円 (同+66億円)

営業利益: 74億円 (同+25億円)

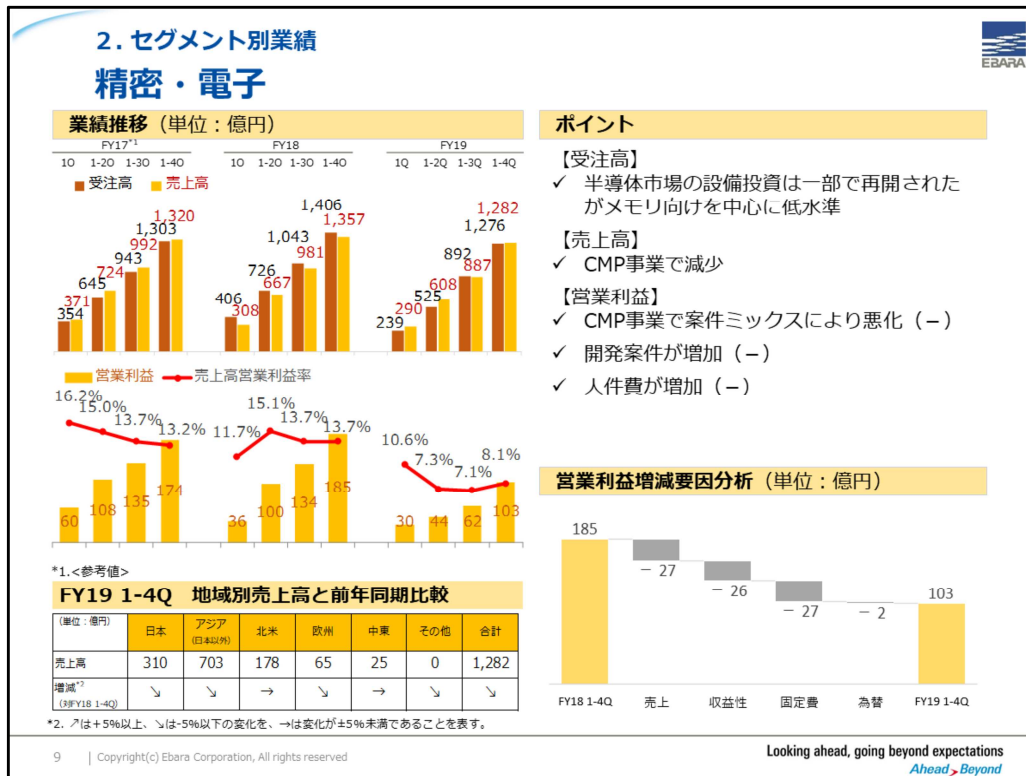
### <受注高>

- 2018年は大型案件を複数件受注し1,000億円を超える高い受注水準
- 2019年もDBO案件を3件受注するなど受注高は900億円を超えており、2年連続で高水準

### <売上高・営業利益>

- 延命化工事などオペレーション&メンテナンスの売上が増加
- 原価低減が進捗したことなどにより増益





## 2. セグメント別 精密・電子：

受注高：1,276億円（前期比-130億円）

売上高：1,282億円（同-74億円）

営業利益：103億円（同-81億円）

### <受注高・売上高>

- 年間ではメモリメーカーを中心に顧客の投資は低調
- 第3四半期の後半から一部の顧客で設備投資を再開する動きがみられ、発注や前倒し納入依頼が増加

### <営業利益>

- 減収に加え、CMP事業における案件ミックスにより収益性悪化
- 開発案件や人件費などが増加したため、減収幅に対して減益幅が拡大

### 3. 業績見通し 全社



(単位：億円)	FY19 1-2Q 実績	FY20 1-2Q 計画	増減	FY19 1-4Q 実績	FY20 1-4Q 計画	増減
	a	b	b-a	c	d	d-c
発表日(年/月/日)		20/02/12			20/02/12	
受注高	2,456	2,750	293	5,522	5,500	-22
売上高	2,480	2,650	169	5,224	5,260	+35
営業利益	129	95	-34	352	270	-82
売上高営業利益率	5.2%	3.6%	-1.6%	6.8%	5.1%	-1.7pts
経常利益	133	95	-38	355	255	-100
親会社株主に帰属する 当期純利益	80	55	-25	233	160	-73
ROIC	-	-	-	6.5%	4.3%	-2.2pts

FY20想定為替レート USD1=105円

10 | Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

Looking ahead, going beyond expectations  
Ahead, Beyond

### 3. 業績見通し 全社：

#### <市場環境の認識>

(世界経済) 米中貿易摩擦の問題、不安定な中東情勢など不確実な要素があり業績への影響が懸念される

(日本経済) 社会インフラの老朽化対策が推進される一方で、オリンピック・パラリンピック需要の反動減による民間設備投資の減速懸念

- 海外における経済成長や、半導体設備投資の回復兆しもあり市場環境に合わせたメリハリのある事業戦略を実行していく

#### <業績見通し>

受注高：5,500億円（前期比-22億円）

売上高：5,260億円（同+35億円）

営業利益：270億円（同-82億円）\*

\*2020年2月26日に業績予想を修正し、営業利益の見通しを306億円（前期比-46億円）に変更

#### <コロナウィルス感染拡大による影響>

- 業績見通し数値にはコロナウィルス感染拡大による影響は織り込んでいないが、状況が長引けばその影響が懸念される
  - 当社の中国拠点には非連結を含め11拠点で、売上規模は全体の約1割程度（中国拠点：山東省に半数、そのほかは浙江省や江蘇省、上海など）
  - 拠点の一部で2/10より部分的に操業を再開しているが、大部分では翌週以降の操業開始となる見通し

### 3. 業績見通し セグメント別



(単位: 億円)	発表日(年/月/日)	FY19 1-2Q	FY20 1-2Q	増減	FY19 1-4Q	FY20 1-4Q	増減
		実績	計画		実績	計画	
		a	b	b-a	c	d	d-c
	20/02/12						
全社	受注高	2,456	2,750	+ 293	5,522	5,500	- 22
	売上高	2,480	2,650	+ 169	5,224	5,260	+ 35
	営業利益	129	95	- 34	352	270	- 82
	売上高営業利益率	5.2%	3.6%	- 1.6pts	6.8%	5.1%	- 1.7pts
風水力	受注高	1,617	1,630	+ 12	3,316	3,240	- 76
	売上高	1,542	1,630	+ 87	3,231	3,180	- 51
	営業利益	53	65	+ 11	172	150	- 22
	売上高営業利益率	3.4%	4.0%	+ 0.6pts	5.3%	4.7%	- 0.6pts
環境プラント	受注高	305	420	+ 114	914	840	- 74
	売上高	321	300	- 21	695	670	- 25
	営業利益	30	20	- 10	74	55	- 19
	売上高営業利益率	9.6%	6.7%	- 2.9pts	10.8%	8.2%	- 2.6pts
精密・電子	受注高	525	690	+ 164	1,276	1,400	+ 123
	売上高	608	710	+ 101	1,282	1,390	+ 107
	営業利益	44	50	+ 5	103	105	+ 1
	売上高営業利益率	7.3%	7.0%	- 0.3pts	8.1%	7.6%	- 0.5pts
その他、調整	受注高	7	10	+ 2	15	20	+ 4
	売上高	7	10	+ 2	15	20	+ 4
	営業利益	1	-40	- 41	1	-40	- 41
	売上高営業利益率	13.5%	-400.0%	- 413.5pts	10.9%	-200.0%	- 210.9pts

11 | Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

Looking ahead, going beyond expectations  
Ahead > Beyond

### 3. 業績見通し セグメント別：

#### ■ 風水力事業：減収減益

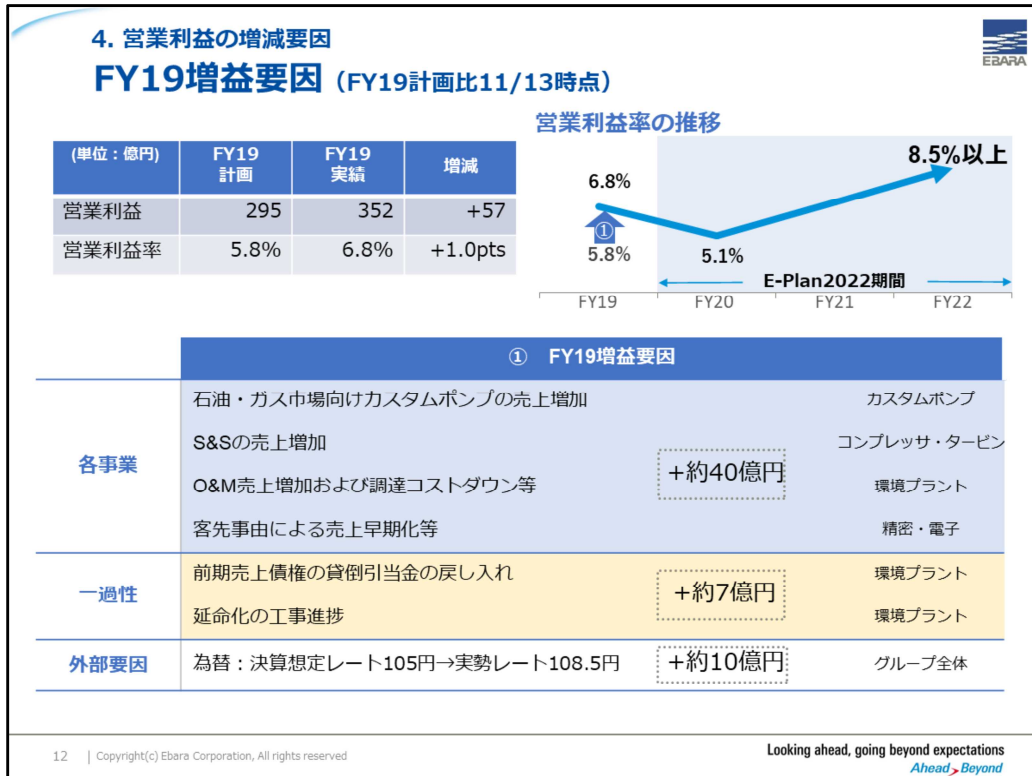
- 国内ポンプ事業においてオリンピック・パラリンピック需要の反動減による影響を反映
- 筋肉質化に向けた業務改革を進めていくなかでの自動化ラインの構築、ICT導入などによる先行費用が発生

#### ■ 環境プラント事業：減収減益

- EPC案件の工事進捗が谷間を迎えること、新収益認識基準への変更による減収減益

#### ■ 精密・電子事業：増収、営業利益は横這い

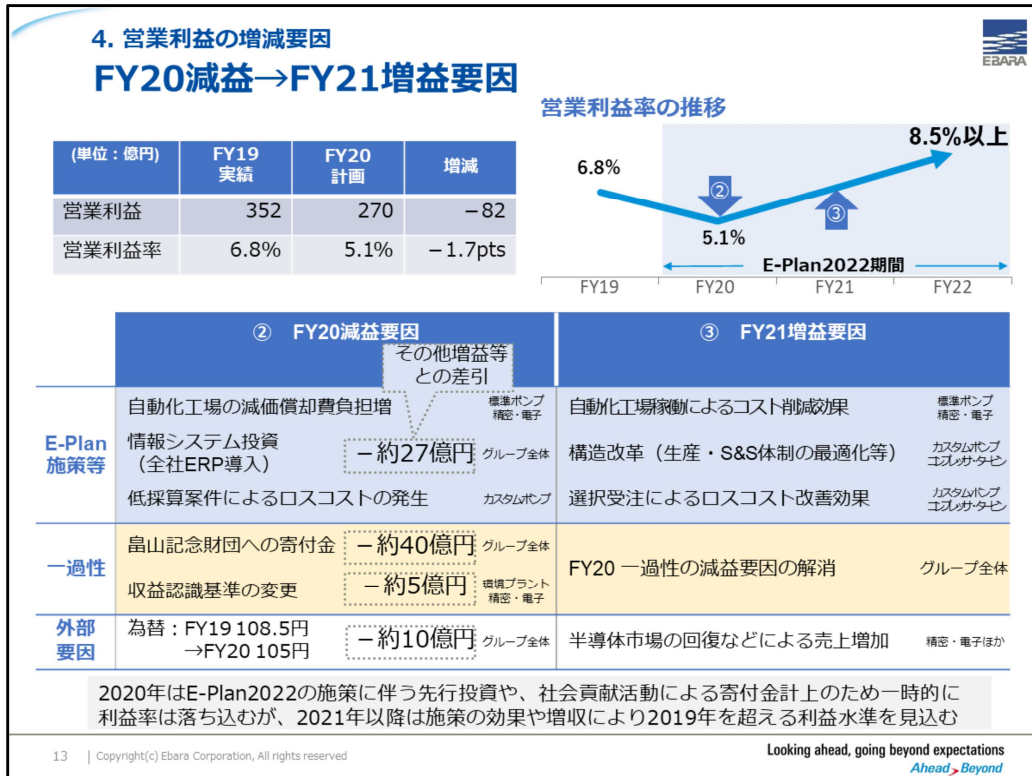
- 将来拡大する半導体需要の取り込みを確実にするためにドライ真空ポンプの自動化工場稼働に向けた準備で先行費用が発生
- 市場シェアを拡大させるためのサービス&サポート体制の強化



4. 営業利益の増減要因 FY19増益要因 (FY19計画比11月13時点)

<2019年度実績の営業利益上振れ要因>

営業活動や業務改善による収益性改善効果に加え、顧客事由による出荷の早期化、一過性や為替の影響などもあり想定以上に利益が積みあがった



#### 4. 営業利益の増減要因 FY20減益→FY21増益要因

<2020年度業績見通しが減益となる要因>

- 新中計での施策等や一過性の減益要因による影響が大きい  
(E-Plan施策等 -27億円)

- ・ 標準ポンプ事業の自動化ラインや精密・電子事業の自動化工場稼働に伴う減価償却費の増加
- ・ 精密・電子事業は自動化工場稼働に付随する初期費用が発生
- ・ 経営基盤の強化を目的とした全社的なERPの導入
- ・ カスタムポンプ事業で受注済み低採算案件への対応 など

(一過性 -45億円) \*

- ・ 社会貢献活動による畠山記念文化財団への寄付40億円\*の計上 など

\*2020年2月26日に業績予想を修正。畠山記念文化財団への2020年12月期の寄付金を4億円に変更、一過性要因は -45億円 → -9億円 に変更

(外部要因 -10億円)

- ・ 為替(前期比で円高予想)

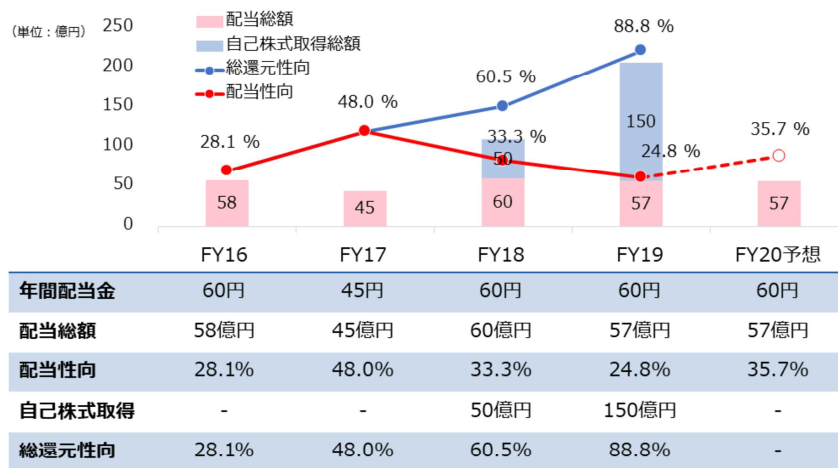
<2021年度業績見通しが増益となる要因>

- 2021年は2019年を超える利益水準を見込む
  - ・ 2020年の一過性の減益要因が解消
  - ・ 新中計の施策による効果の表れ
  - ・ 半導体市場の回復、海外など成長市場・地域での売上拡大 など

## 5. 株主還元 株主還元の見通し



2020年12月期の1株当たり年間配当金は60円(中間30円)を予定



14 | Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

Looking ahead, going beyond expectations  
Ahead Beyond

### 5. 株主還元 株主還元の見通し：

<2020年度株主還元の見通し>

- 1株当たりの年間配当金：60円（予定）

<株主還元方針の変更>

- 今期より従来の連結総還元性向30%以上から連結配当性向35%以上へ変更

## 6. 補足資料：数値サマリ

### 受注高



(単位：億円)	1-2Q			1-4Q				
	FY19 実績	FY20 計画	増減	FY18 実績	FY19 実績	増減	FY20 計画	増減
	a	b	b-a	c	d	d-c	e	e-d
発表日(年/月/日)		20/02/12					20/02/12	
<b>全社</b>	2,456	<b>2,750</b>	+ 293	5,755	5,522	- 233	<b>5,500</b>	- 22
風水力	1,617	<b>1,630</b>	+ 12	3,262	3,316	+ 53	<b>3,240</b>	- 76
ポンプ	886	<b>860</b>	- 26	1,710	1,763	+ 52	<b>1,810</b>	+ 46
CT	456	<b>510</b>	+ 53	1,027	1,020	- 7	<b>930</b>	- 90
冷熱	203	<b>210</b>	+ 6	375	381	+ 5	<b>380</b>	- 1
その他	70	<b>50</b>	- 20	149	151	+ 2	<b>120</b>	- 31
環境プラント	305	<b>420</b>	+ 114	1,069	914	- 155	<b>840</b>	- 74
精密・電子	525	<b>690</b>	+ 164	1,406	1,276	- 130	<b>1,400</b>	+ 123
コンポーネント	252	<b>290</b>	+ 37	628	535	- 92	<b>580</b>	+ 44
CMP	248	<b>370</b>	+ 121	720	677	- 42	<b>750</b>	+ 72
その他	24	<b>30</b>	+ 5	57	63	+ 5	<b>70</b>	+ 6
その他	7	<b>10</b>	+ 2	16	15	- 1	<b>20</b>	+ 4

## 6. 補足資料 : 数値サマリ

### 売上高



(単位: 億円)	1-2Q			1-4Q				
	FY19 実績	FY20 計画	増減	FY18 実績	FY19 実績	増減	FY20 計画	増減
	a	b	b-a	c	d	d-c	e	e-d
発表日(年/月/日)		20/02/12					20/02/12	
<b>全社</b>	2,480	<b>2,650</b>	+ 169	5,091	5,224	+ 132	<b>5,260</b>	+ 35
風水力	1,542	<b>1,630</b>	+ 87	3,089	3,231	+ 141	<b>3,180</b>	- 51
ポンプ	884	<b>910</b>	+ 25	1,720	1,749	+ 28	<b>1,770</b>	+ 20
CT	393	<b>460</b>	+ 66	876	952	+ 75	<b>910</b>	- 42
冷熱	190	<b>200</b>	+ 9	358	377	+ 19	<b>370</b>	- 7
その他	74	<b>60</b>	- 14	134	152	+ 18	<b>130</b>	- 22
環境プラント	321	<b>300</b>	- 21	628	695	+ 66	<b>670</b>	- 25
精密・電子	608	<b>710</b>	+ 101	1,357	1,282	- 74	<b>1,390</b>	+ 107
コンポーネント	296	<b>280</b>	- 16	593	589	- 3	<b>570</b>	- 19
CMP	283	<b>410</b>	+ 126	698	626	- 72	<b>770</b>	+ 143
その他	28	<b>20</b>	- 8	65	66	+ 1	<b>50</b>	- 16
その他	7	<b>10</b>	+ 2	16	15	- 1	<b>20</b>	+ 4



## 6. 補足資料：数値サマリ

### 営業利益



(単位：億円)	1-2Q			1-4Q				
	FY19 実績	FY20 計画	増減	FY18 実績	FY19 実績	増減	FY20 計画	増減
	a	b	b-a	c	d	d-c	e	e-d
発表日(年/月/日)		20/02/12					20/02/12	
全社	129	95	- 34	324	352	+ 28	270	- 82
風水力	53	65	+ 11	87	172	+ 85	150	- 22
ポンプ	56	40	- 16	59	110	+ 50	85	- 25
CT	- 1	10	+ 11	19	48	+ 28	45	- 3
冷熱	8	10	+ 1	4	18	+ 14	15	- 3
その他	- 9	5	+ 14	4	- 4	- 8	5	+ 9
環境プラント	30	20	- 10	49	74	+ 25	55	- 19
精密・電子	44	50	+ 5	185	103	- 81	105	+ 1
その他、調整	1	- 40	- 41	2	1	- 0	- 40	- 41

## 6. 補足資料 : 数値サマリ

### 受注残高



(単位: 億円)	1-2Q			1-4Q				
	FY19 実績	FY20 計画	増減	FY18 実績	FY19 実績	増減	FY20 計画	増減
	a	b	b-a	c	d	d-c	e	e-d
発表日(年/月/日)		20/02/12					20/02/12	
<b>全社</b>	4,539	<b>4,974</b>	+ 435	4,590	4,874	+ 283	<b>5,114</b>	+ 239
風水力	2,147	<b>2,167</b>	+ 19	2,093	2,167	+ 73	<b>2,227</b>	+ 59
ポンプ	967	<b>930</b>	- 36	1,001	980	- 21	<b>1,020</b>	+ 39
CT	921	<b>983</b>	+ 62	843	933	+ 90	<b>953</b>	+ 19
冷熱	178	<b>178</b>	+ 0	167	168	+ 1	<b>178</b>	+ 9
その他	80	<b>73</b>	- 6	81	83	+ 1	<b>73</b>	- 10
環境プラント	2,125	<b>2,481</b>	+ 355	2,143	2,361	+ 218	<b>2,531</b>	+ 169
精密・電子	265	<b>325</b>	+ 60	353	345	- 7	<b>355</b>	+ 9
その他	0	<b>0</b>	+ 0	0	0	+ 0	<b>0</b>	- 0

6. 補足資料：数値サマリ  
**地域別売上高**



(単位：億円)	FY19 1-4Q 実績				
	風水力	環境プラント	精密・電子	その他	合計
全社	3,231	695	1,282	15	5,224
日本	1,362	662	310	-2	2,333
アジア（日本除く）	938	32	703	10	1,685
北米	368	-	178	5	553
欧州	217	-	65	1	283
中東	218	-	25	0	243
その他	125	-	0	0	125

## 6. 補足資料：数値サマリ

## 貸借対照表



(単位：億円)	FY18 4Q	FY19 4Q	増減
	実績 a	実績 b	
資産合計	5,915	5,952	+ 36
流動資産	4,302	4,219	- 83
現金、有価証券	1,122	951	- 171
売上債権	1,838	1,921	+ 82
棚卸資産	1,226	1,211	- 15
その他流動資産	114	135	+ 21
固定資産	1,613	1,733	+ 119
負債合計	3,048	3,034	- 13
仕入債務	1,261	1,204	- 57
有利子負債	791	809	+ 18
その他負債	994	1,019	+ 25
純資産合計	2,867	2,918	+ 50
自己資本	2,796	2,836	+ 40
その他純資産	71	81	+ 10
自己資本比率	47.3%	47.7%	+ 0.4pts

6. 補足資料：数値サマリ  
**キャッシュ・フロー**



(単位：億円)	1-4Q				
	FY18 実績	FY19 実績	増減	FY20 計画	増減
	a	b	b-a	c	c-b
発表日(年/月/日)				20/02/12	
営業活動CF	346	267	-78	330	+62
投資活動CF	-159	-240	-81	-378	-137
フリーCF	186	26	-160	-48	-74
財務活動CF	-464	-201	+262	-84	+117

6. 補足資料：数値サマリ

資本的支出、減価償却費、研究開発費



(単位：億円)	1-4Q				
	FY18 実績 a	FY19 実績 b	増減 b-a	FY20 計画 c	増減 c-b
発表日(年/月/日)				20/02/12	
<b>資本的支出</b>	193	<b>343</b>	+ 150	<b>260</b>	- 83
風水力	106	<b>109</b>	+ 2	<b>110</b>	+ 0
環境プラント	7	<b>9</b>	+ 2	<b>10</b>	+ 0
精密・電子	67	<b>218</b>	+ 150	<b>70</b>	- 148
その他、調整	11	<b>6</b>	- 5	<b>70</b>	+ 63
<b>減価償却費</b>	152	<b>151</b>	- 1	<b>180</b>	+ 28
風水力	84	<b>83</b>	- 1	<b>75</b>	- 8
環境プラント	5	<b>5</b>	- 0	<b>5</b>	- 0
精密・電子	40	<b>45</b>	+ 5	<b>75</b>	+ 29
その他、調整	21	<b>16</b>	- 5	<b>25</b>	+ 8
<b>研究開発費</b>	106	<b>115</b>	+ 8	<b>140</b>	+ 24
風水力	50	<b>52</b>	+ 2	<b>60</b>	+ 7
環境プラント	4	<b>7</b>	+ 2	<b>10</b>	+ 2
精密・電子	51	<b>55</b>	+ 3	<b>70</b>	+ 14

本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。